



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

TGF- β 活性化の制御を介した肝線維化抑制に関する研究

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 奥野, 正隆 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/397

は し が き

肝硬変症に代表される肝線維症は慢性肝疾患の終末像であり、現在これに対する有効な治療法は開発されていない。現在までに、肝線維化の病態形成・進行には、肝星細胞による細胞外マトリックス産生が重要な役割を担っていること、その産生にはtransforming growth factor- β (TGF- β)による刺激が鍵を握っていることが明らかにされている。

本研究では、プラスミン・カリクレインといったセリンプロテアーゼの作用によりTGF- β が潜在型から活性型へと変換されることを明らかにし、このTGF- β 活性化が肝線維化の病態形成に深く関わっていることを示した。また、セリンプロテアーゼインヒビターによる肝線維化治療薬の開発も行った。

研究組織

研究代表者： 奥 野 正 隆 (岐阜大学医学部助手併任講師)

研究分担者： 小 嶋 聡 一 (理化学研究所ライフサイエンス
筑波研究センター前任研究員)

研究経費

平成9年度	1 0 0 0 千円
平成10年度	7 0 0 千円
平成11年度	7 0 0 千円
計	2 4 0 0 千円